

日本の民间传说～很久很久以前～

カ唧カ唧山



很久很久以前，某个地方住着一位老爷爷和一位老奶奶。有一天，老爷爷去地里播种，来了一只狸猫把种子挖出来全部都吃了，老爷爷非常生气，抓住狸猫用绳子捆了起来。回到家交给老奶奶说：“用它做狸肉酱汤吧”，之后又回去工作了。

老奶奶在准备狸肉酱汤时，狸猫拜托老奶奶道：“我再也不干坏事了，把绳子解了让我来帮您做家务吧”，老奶奶相信了狸猫的话，解开了绳子。就在这时狸猫打了老奶奶之后逃走了。老奶奶被狸猫打死了。

老奶奶死后，老爷爷终日悲伤不已，这时来了一只兔子。听了老爷爷悲伤的原因，兔子说道：“我来消灭这只坏狸猫”，然后就走了。

兔子找到了狸猫，说：“我们一起去砍柴（捡柴）吧”，带着狸猫一起去砍柴了。背着柴火下山时，兔子让狸猫先走，它在后面用打火石卡唧卡唧地点火。“现在发出的卡唧卡唧的声音是什么呀？”，狸猫问道，兔子回答说：“这座山叫做卡唧卡唧山，所以会发出卡唧卡唧的声音”。过了一会儿，狸猫背上背的柴火熊熊燃起，“好热好热”狸猫热得逃回了家。

背上被烧伤的狸猫正在睡觉时，兔子又来了，说道：“我来帮你涂药吧，这个药对烧伤很有效”。于是在狸猫的背上涂了辣椒酱。“好痛好痛”狸猫的烧伤更加严重了。

过了一段时间，兔子又来找烧伤痊愈的狸猫，说：“一起去钓鱼吧”，于是来到海边，那里有两艘小船。狸猫坐了大的那一艘，和兔子一起出海钓鱼去了。这时狸猫的船开始倾斜，因为兔子的船是木头做的，而狸猫的船是泥做的。狸猫向兔子求救但最终沉入了海底。就这样兔子给老奶奶报了仇。

にほん むかしばなし 日本の昔話～むかし、むかし～

かちかち山^{やま}

昔々ある所にお爺さんとお婆さんが住んでいました。ある日、お爺さんは畑に種を撒きましたが、狸がやってくるので種を掘り出して全部食べてしまったので、お爺さんは怒って狸を捕まえ、縄で縛りました。そして家のお婆さんに「狸汁にしておくれ」と渡すと、また仕事に行きました。

お婆さんが狸汁の用意をしていると、狸がお婆さんに「もう悪いことはしないから、縄をほどいて家事を手伝わせてくれないか」と頼むので、お婆さんは狸の言葉を信じ、縄をほどいてやりました。すると狸はお婆さんを殴って逃げました。狸に殴られお婆さんは死んでしまいました。

お婆さんが死に、お爺さんが悲しみに暮れていると、兎がやってきました。お爺さんに悲しんでいる訳を聞くと「私が悪い狸を退治しましょう」と出掛けに行きました。

兎は狸を見つけると「柴刈り（薪拾い）と一緒にいきませんか」と狸を連れ出し、2匹は柴刈りをしました。柴を背負って山を下る時、兎は狸を先に歩かせ、後ろから火打石をカチカチと打ちました。「今のカチカチという音はなんだい？」と狸が訊くと、兎は「この山はかちかち山と言う山だから、カチカチ音がするのです」と答えました。しばらくすると狸が背負っていた柴はぼうぼう燃え「アチチチチ！」狸は熱くて逃げ帰って行きました。

背中にやけどを負った狸が寝ていると、また兎がやってくる「やけどによく効く薬を塗ってあげましょう」と言いました。そして狸の背中に唐辛子味噌を塗りつけました。「イタタタタ！」やけどは益々酷くなりました。

しばらくしてやけどが治った狸の元に兎がやってくる「釣りに行きませんか」というので行ってみると、海岸に舟が2艘あります。狸は大きい方の舟に乗り、共に沖に出て釣りを始めました。すると狸の舟が傾き始めました。兎の舟は木の舟でしたが、狸の舟は泥の舟だったのです。狸は助けを求めましたが、海に沈んでしまいました。兎はこうしてお婆さんの仇を取りましたとき。